前田道路本社・日本アスファルト合材協会要請行動

合材運搬単価が改善しなければ、繁忙期の道路工事にダンプが集まらないのは必然。至急単価の引き上げを！

前田道路本社要請

　全国ダンプ合材委員会では、9月3日、前田道路本社要請を行い、4支部9名が参加しました。組合側から「燃料高騰の中、その負担をしているのはプラントで働くダンプ労働者。このまま単価が上がらない状況で、公共工事残土で働くダンプの単価が国主導で一定程度改善されていけば、益々アスファルト合材を運ぶダンプが少なくなり、最終的に工期に間に合わず、元請や国民に迷惑がかかる。私たち労働者と道路会社が一体となって、市場単価を上げ、設計単価を見直させる必要がある」と意見をしました。

　前田道路側も、「営業・製造・運搬が三位一体となって、この困難を乗り越え、お客様に最良のサービス（製造物）を届けなければならない。」と答えました。

　また、各職場（プラント）で働く仲間からは、各プラントでの諸問題・ダンプ不足・単価改善の状況を直接本社に伝え、本社からの具体的・効果的な指導を要請しました。

　同日午後からは、日本アスファルト合材協会を訪れ、意見交換をしました。

　協会からは、国交省が昨年から二省協定労務費を引き上げているが、建設業界全体のものになっていなく、とりわけ資材運搬については、まだまだ市場価格が上がってきていない。結果的に設計単価も引き上がらず、道路会社やダンプの負担になっている。

　各地方のプラントにも出向いて話をするが、ダンプ不足は深刻で、今期の繁忙期は（震災以降ダンプが増えていない状況を見れば）昨年より更に深刻になるのではないかと思う。道路業界をともに若い人が魅力ある産業にしなければならないのは同じ考えであり、出来ることは協力していきましょう。と話され、ダンプ労働者としても同意見であり、協会として一層情報集約・分析し、国などへの政策提言などが出来ないか求めました。

横浜市内でダンプ一晩で5台盗難
盗難対策と車両保険加入を

「夜中にバタバタとダンプが出て行った」

　9月8日未明、横浜市内のH建材ダンプ駐車場から、大型ダンプ5台が盗難にあったと組合に情報が入りました。

　そこには会社&置き場があり近隣には民家もありますが、近所の人の話では、夜中にバタバタとダンプが出て行く音が聞こえたとのこと。また、会社の事務所も荒らされ、金庫から現金も盗まれていたとのことです。盗まれたダンプは全て会社所有のダンプで、新旧問わず盗まれたようです。

　ダンプの盗難は、仕事を奪うだけでなく会社経営、運転手の生活、将来設計にわたるまで大きく狂わせる大変卑劣な行為です。しかし、現時点で、盗難対策は遅れており、昨年夏の神奈川ダンプ支部の県警要請でも、ナンバーはその場で変えられてしまえば、解体ヤードに入るダンプを現行犯で見つけない限り、中に入ってしまっては取り締まりようが無いとのこと。やはり、現時点では自分の身は自分で守るしかないようです。

最後の安心はやはり車両保険

組合では、セコムの代理店業務も行っており、盗難防止装置の普及を行っていますが、何といっても安心なのは、「車両保険」への加入です。

　車両保険の「車同士の事故＋盗難」で加入できます。掛けられる保険金額は現在乗ってるダンプの時価額を保険会社と組合が協議して、決定しますが、中古車市場が今のところ高騰しているので、納得のいく車両価額を付けることが出来ています。

　参考保険料は下記の通りですので、是非組合が代理店となっている自動車保険への切り替えをお願いいたします。

Ａ社自動車月額保険料（ダンプ２ｔ超）の目安
※対人・対物無制限、人身傷害3000万、弁護士費用特約付きで計算

割引等級	車両保険無し	車両500万（免5-10）	差　額
6S	21340円	29480円	＋8140円
7	14820円	20450円	＋5630円
8	12360円	17060円	＋4700円
10	11750円	16220円	＋4470円
12	10940円	15080円	＋4140円
14	10530円	14520円	＋3990円
16	9910円	13660円	＋3750円
18	8890円	12260円	＋3370円
20	7680円	10580円	＋2900円

20等級なら、月2900円で500万円のダンプ買い替え料保障